

# HB通信

編集・発行 /  
一般社団法人  
ひょうご部落解放・人権研究所



〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階  
TEL: 078-252-8280 FAX: 078-252-8281  
e-mail: blrhyg@extra.ocn.ne.jp URL: http://blrhyg.org/



所長の諏訪山だより

## 自民党保守派という度し難い存在

2年前に自民党も含む超党派議員連盟を中心に取りまとめられたLGBT理解増進法案が自民党内で大幅に修正され、5月18日に与党により国会に提出された。この修正にあたっては、自民党保守派から「身体が男性である人が「心は女性だ」と主張し、トイレや浴場に侵入してくる」などと、トランスジェンダー女性が女性の安全を脅かす存在であるかのような反論を繰り返した。しかし、トランスジェンダーは、外出先でのトラブルを回避するために、トイレの使用には細心の注意を払っており、複数の人が同時に使用するようなトイレは避け、喫茶店などのトイレを使用したり、外出先ではトイレに行かないようにしている人もいる。自民党保守派の反論は、トランスジェンダー女性を性犯罪者であるかのように排斥するものであり、性暴力被害者とトランスジェンダー女性を対立させる言説であるといえる。

宝塚大学の日高庸晴さんの調査(2019年)によると、トランスジェンダー女性の57.0%、トランスジェンダー男性の51.9%が性暴力被害の経験があるという。そうした人たちに「心の性」のトイレに入るな、「身体の性」のトイレに行け、と言うのか。女性専用スペースでの性犯罪を防ぐことと、トランスジェンダー女性が安心して女性用の設備を利用できるようにすることは、対立するものではない。これらが両立して実現できるような制度や設備づくりを議論していけばいいのである。

今回の自民党保守派によるトランスジェンダーへのバッシングは、法案を葬り去ろうとするための単なる方便ではない。米国で同性婚が合法化された2015年以降、米国を中心に顕在化してきた、LGBとTを分断し、Tに焦点を当て攻撃する反LGBT運動と連動した動きであるとみるべきだ。自民党保守派を伝統的な家族にこだわる遺物的な存在、消えゆく少数派などと侮ってはならない。今回の法案の提出は、自民党内の推進派が保守派を押し切った結果ではない。議員立法は原則として全会一致で審議に入る慣例があり、「どうせ立民が反対するので、審議できず廃案になる」ということで、保守派が矛を収めたにすぎないのだ(産経新聞2023年5月18日)。安倍元首相死亡後も、自民党保守派は依然として大きな力をもっている。結局は、私たちの投票行動が問われるのである。(5月26日記)

所長 石元清英

〈講座のご案内〉

## ひょうご人権総合講座【2023年度も開講します！】 誰ひとり取り残さない社会をめざして

- 期 間：2023年8月24日（木）～12月14日（木）全13日・26講座（フィールドワーク2講座含む）
- 対 象：人権について学びたい方
- 定 員：約40人

※遠方にお住まいなどでオンラインを希望される場合はご相談ください。  
（フィールドワーク、ワークショップを除く）

- 受講料：全講座 98,000円 ※全講座お申し込みの場合、6,000円お得です！  
1講座 4,000円

■ 会 場：兵庫県立のじぎく会館他

■ 募集期間：2023年5月1日（月）～7月31日（月）

### ■ プログラム

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月24日（木）<br/>人権総論【李嘉永】<br/>部落問題①（総論）【石元清英】</li> <li>■ 8月31日（木）<br/>部落問題②（現状）【北川真児】<br/>部落問題③（生活実態）【内田龍史】</li> <li>■ 9月7日（木）<br/>部落問題④（行政）【柴原浩嗣】<br/>病気と差別（ハンセン病）【宮前千雅子】</li> <li>■ 9月21日（木）<br/>在日外国人①（制度）【韓検治】<br/>在日外国人②（在日コリアン）【郭辰雄】</li> <li>■ 9月28日（木）<br/>在日外国人③（教育）【山本晃輔】<br/>障害者①（総論）【竹端寛】</li> <li>■ 10月5日（木）<br/>障害者②（自立生活の現状と歴史）【玉木幸則】<br/>障害者③（障害者の権利）【尾上浩二】</li> <li>■ 10月19日（木）<br/>フィールドワーク①（神戸市内の被差別部落）<br/>フィールドワーク②（神戸市内の被差別部落）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月2日（木）<br/>ジェンダー①（総論）【牟田和恵】<br/>ジェンダー②（性的マイノリティ）【田中一步、<br/>近藤孝子】</li> <li>■ 11月9日（木）<br/>ジェンダー③（性暴力）【福岡ともみ】<br/>人権のまちづくり（災害）【津久井進】</li> <li>■ 11月16日（木）<br/>子ども①（子どもの権利条約）【曾我智史】<br/>子ども②（ヤングケアラー、虐待）【田上時子】</li> <li>■ 11月30日（木）<br/>対人援助の基礎①【狭間香代子】<br/>対人援助の基礎②（ワークショップ）【大岡由佳】</li> <li>■ 12月7日（木）<br/>啓発・広報（ワークショップ）【神崎英徳】<br/>メディア・リテラシー（ワークショップ）【西村<br/>寿子】</li> <li>■ 12月14日（木）<br/>貧困【梶本郁】<br/>ワークショップ【平田オリザ】</li> </ul> |
|---|--|

- 申込方法（2023年7月31日締切）

受講申込書を研究所へお送りください。

- 主催：一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所

- お問合せ：一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所

TEL：078-252-8280 mail：blrhyg@extra.ocn.ne.jp

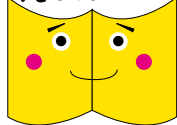


お申込み↑



講座概要↑

えほんの紹介



## 『ちらかし ぼうや』

(ジャン・オームロッド文・絵、ほしかわなつよ訳、童話館出版、2005年9月)

770円(税込)



「ぬいぐるみは、おもちゃばこにいれようね」。お父さんはぬいぐるみを片付けながら、赤ちゃんに優しくよびかけます。次に「えほんはほんだなに」と絵本を片づけていると、その後ろで赤ちゃんが片づけたばかりのぬいぐるみを、ぽいぽいっ！とおもちゃ箱から引っ張り出してしまいます。お父さんが片づけても片づけても、部屋は散らかっていきます。ついには、優しいお父さんも「なんてことだ」と声を荒げてしまいますが、「いいとも、いいとも、もういちどさいしょからはじめるさ」と赤ちゃんをぎゅっと抱きしめます。抱きしめられているあかちゃんの顔がなんとも幸せそうで、最後は思わずにっこりしてしまう絵本です。

娘ちゃんのお気に入り指数



今回の絵本は『ちらかし ぼうや』です。この本は研究所事務局のHさんから「お父さんと子どもを題材にしためずらしい絵本がある」と教えてもらったのですが、当時初めての子育てに戸惑ってばかりだった私にとって、まさに“子育てあるある”の絵本でした。

まず一つ目の“あるある”が、赤ちゃんは物を散らかすということです。直してあるものや並んでいるものを全部出してしまいます。片づけたそばからぐちゃぐちゃにされて、何度イラとしたことか。絵本のお父さんのような神対応は毎回できるものではありません。でも、赤ちゃんは散らかすことで学んで成長しているそうです。絵本を読むと、「かわいなあ♡」と娘ちゃんへの愛しさを改めて感じ、怒ったらダメだなと冷静になれる気がします。

もう一つの“あるある”は、お父さんが出てくる絵本はほんとうに貴重だということです。娘ちゃんが3歳になって絵本の数もずいぶん多くなったのですが、「ママ大好き」とか「ママとおでかけ」など出てくるのはママばかり。夫も「パパは全然出てこん」といつも悲しそうにしていますし、そう感じるお父さんも多いのではないかと思います。絵本にママばかり出てくるから、赤ちゃんに「ママじゃないと嫌！」という意識が刷り込まれているのではないかと思います。

昔の絵本は、「ママが家にいて、パパは仕事」「ママがごはんを作って、パパは新聞を読んでいる」というような設定のものが多く、そういう絵本を読んで育てば、ママだけが子育てや家事をすることをごく普通に感じてしまうのではないかなと思います。パパが家事や子育てをすることがもっと普通に絵本に描かれるようになってほしいなと思います。

(ひ)

**(一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2023年度人権セミナー****《第2回》包括的差別禁止法とはどういう法制か**

2016年、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律」「部落差別の解消の推進に関する法律」の3法が公布・施行されました。このように個別の人権課題に対して個別の法律がつくられてきました。しかし、このような法律に対して、内容が不十分であるとの指摘があるのが現状です。例えば、差別を受けた際の紛争解決システムを構築する必要がありますが、これらの個別法にはそのような規定はありません。

差別をされないということは、全ての人々がもつ基本的な権利です。全ての人々の差別をされない権利を護るためには、差別を明確に定義したうえでそれを禁止することを明記し、救済システムや罰則を規定する、包括的な差別禁止法の制定が必要です。

セミナーでは、李嘉永さんを講師としてお迎えし、包括的差別禁止法の必要性とその備えるべき内容などについてお話をいただきます。

■講師：李嘉永さん（近畿大学人権問題研究所准教授）

■日時：2023年7月1日（土）14：00～16：00（13：30受付開始）

■参加資料代：一般：1000円／正会員（個人会員）：無料／定期購読（個人）・学生・賛助会員：500円

■定員：40人

■場所：①兵庫県立のじぎく会館 201号室

神戸市中央区山本通4丁目22番15号

②オンライン配信（定員90人）※Zoomミーティングを使用します

■参加申込み方法：ホームページ、電話、メールなどでお申し込みいただけます。

お申し込みは  
こちらから→

**2023年度人権セミナー****【第3回】「障害のある女性の人権～複合差別とは？」**

講師：藤原久美子さん（DPI女性障害者ネットワーク代表）

日時：2024年1月13日（土）14～16時

**【第4回】「ウトロの歴史と現在」（仮）**

講師：金秀煥さん（ウトロ平和祈念館副館長）

日時：2024年3月16日（土）14～16時

**第57回定時社員総会を開催**

6月3日、神戸市教育会館で第57回定時社員総会を開催しました。

2023年度事業・予算などが承認されました。

役員改選もおこなわれ、女性理事が4人増え、5人となりました。

**事務局から**

- 田植えが5月の初めに終わり、今は毎朝、田の水と畔の草を見て回っています。今日から田の中干を始めました。天候を気にする毎日が始まります（Ho）
- 次の『ひょうご部落解放』（186号）関連の作業に大幅な遅れが出ています。しかし割ける時間が少なく、憂鬱な毎日です。まだ日があるので、なんとかしたいと思います（ka）
- 4月29日にオープンした大阪コリアンタウン歴史

- 資料館。展示の素晴らしさもさることながら「気」がとてもよく通る建物と場所でした。機会があればぜひ（H）
- 暑くてマスクが苦しい季節になりました。でも、自分だけでなく、大切な人を守るために、感染をさけないでたかのためにも、日々できることマスク着用を続けていきます。（亀）
- 研究所が超多忙を極める中ですが、5/15から産休に入ります。新しい家族が増えることがとても楽しみです。安産であることを祈ります。（ひ）

